

## \*データのご利用にあたって

- ・データポリシー JAMSTEC
- ・データ責任者 情報管理部署  
JAMSTEC / BPPT joint cruise in the Indonesian waters.
- ・データの利用制限 データ利用の制限については 注意事項 をご参照ください。
- ・引用方法 データの引用については 注意事項 をご参照ください。

## 品質

Raw

## 観測機器

機器名

船上三成分磁力計



## 概要

本データは、三軸(船上座標：h(+船首側),s(+右舷側),v(+船体下方)のリングコア型フラックスゲート磁力センサーにより計測した磁力値から、地磁気異常値を算出したものである。データを公開するにあたり、船体磁場の影響を取り除くため8の字航走したデータから補正係数を算出し補正を行っている。もし、当該航海にて8の字航走を行っていない場合は、当該航海より以前の航海で最も近い期間に行われたデータを用いている。さらに、一定の基準で信頼性の低いデータを除去する品質管理（下記参照）を行っている。なお、地磁気異常値を算出するために使用する標準磁場は、国際標準地球磁場(IGRF)を使用している。

## 計測装置

## 1) 計測部

- メーカー： 有限会社テラテクニカ
- 型式： SFG1214
- 測定範囲：  $\pm 100,000\text{nT}$
- 絶対精度及び安定性：  $100\text{nT}$ 以内
- 分解能：  $1\text{nT}$
- 設置場所： ドライラボ

## 2) センサー部

- メーカー： 有限会社テラテクニカ
- 方式： リングコア型フラックスゲート
- 設置場所： フォアマスト

## 3) 水平姿勢計・方位計

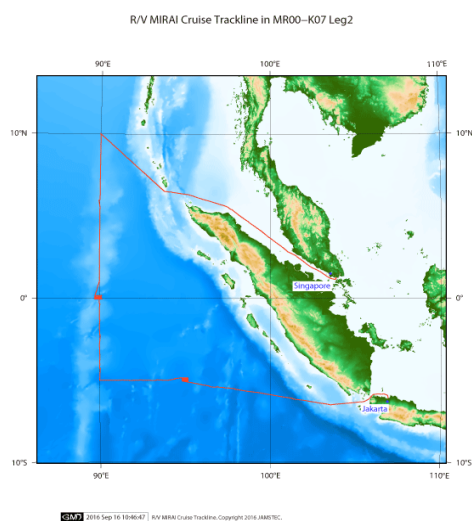
- メーカー： Honeywell
- 型式： DRUH
- 精度： Roll, Pitch :  $\pm 0.03^\circ$  以内  
Gyro :  $\pm 0.06^\circ$  以内
- 設置場所： ドップラーレーダードーム内

## このデータについて

適切な8の字航走データが存在せず船体磁場の影響を取り除けないため、このデータについては処理を行いません。

Rawデータの提供を希望される方は「[dmo@jamstec.go.jp](mailto:dmo@jamstec.go.jp)」にお問い合わせください。

## 関連情報



### MR00-K07 Leg2

船舶名：	みらい
期間：	2000/11/09 - 2000/11/20
主席/首席：	水野 恵介（海洋科学技術センター）
課題名：	スカイラジオメータによる海洋上における大気エアロゾルの光学的特性の観測によるリモートセンシングに対する検証更正のための研究
	西部熱帯太平洋海域に発達する積乱雲からの降水粒子の観測
	季節内変動とそのサブスケール変動の詳細観測
	熱帯赤道域の観測研究及び海洋-大気相互作用に係わる観測研究
	東部インド洋表層海洋変動の観測研究
	低緯度域における炭素循環と一次生産及び関連諸量に関する研究
	ライダー(レーザーレーダー)による太平洋域における大気境界層、対流圏エアロゾル、雲の観測
	地球物理観測データを用いた海洋底ダイナミクスの解明に関する研究

## STCM Corrected フォーマット

No.	カラム	項目	表示書式	単位	備考
1	1 - 8	日付	i4,i2,i2		YYYYMMDD (UTC)
2	10 - 15	時刻	i2,i2,i2		hhmmss (UTC)
3	17 -25	緯度	f9.5	度	南緯は-マイナスで表記
4	27 -36	経度	f10.5	度	西経は-マイナスで表記
5	38 -43	X成分地磁気異常値	f6.0	nT	北向き正
6	45 -50	Y成分地磁気異常値	f6.0	nT	東向き正
7	52 -57	Z成分地磁気異常値	f6.0	nT	鉛直下向き正
8	59 -64	全磁力地磁気異常値	f6.0	nT	